

地域福祉の充実をめざして、支える心のネットワーク!



赤い羽根共同募金

2018

7

July



福祉ちば

編集・発行 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

No.178

特集

菜の花コミュニティプラン2020策定

地域の福祉活動

[旭市] 広原地区社会福祉協議会

エールちば

千葉介助犬協会の取り組み

地域にひろがる 社会福祉法人の取り組み

社会福祉法人清郷会 (富里市)

県社協ニュース

車いす寄贈・生命保険協会からの寄付

福祉人材関連情報 / やりがい いきがい はたらきがい

東浪見こども園・保育士の巻

行動計画「菜の花コミュニティプラン2020」を策定しました

千葉県社会福祉協議会では、各種福祉関係計画との連携を図りながら「誰もが、自分らしく、この千葉で暮らし続けることができる地域社会の実現に貢献する」という本会の理念に基づき、平成16年度から基本方針・基本目標を定める行動計画として菜の花コミュニティプランを策定しています。

平成27年度から平成29年度の計画年度の「菜の花コミュニティプラン2017」が終了することから、新たな行動計画「菜の花コミュニティプラン2020」を策定しました。「菜の花コミュニティプラン2020」の計画期間は、平成30年度から平成32年度までの3年間としており、6つの基本目標を基に、18のアクションプラン（基本施策）で構成しています。



基本目標 1

地域福祉の基盤強化

1. 地域福祉推進の核になる市町村社協を支援します
 - 経営組織のガバナンス強化に向けた支援を行います
 - 職員の資質向上に向けた研修を実施します
 - 社協活動の見える化を推進します
2. 地域福祉を推進するための人材を育成します
 - 地域福祉専門職等の育成に取り組みます
 - 大学生等のボランティア・社会貢献活動を推進します
 - 元気高齢者の地域活動を推進します
 - 福祉教育の推進方策を検討します
3. 地域福祉を推進するための仕組みづくりを支援します
 - 地域福祉活動計画の策定を促進します
 - 基本・小域地域福祉フォーラムの設置を促進します

基本目標 2

総合相談・生活支援・権利擁護機能の強化

1. 総合相談・生活支援の充実に向けた取り組みを支援します
 - 千葉県新地域支援事業推進協議会の活動を充実させ、市町村が進める生活支援体制整備事業を支援します
 - 市町村が配置する生活支援コーディネーターの資質向上に取り組みます
2. 総合的な権利擁護体制の構築に向けた取り組みを強化します
 - 日常生活自立支援事業の運営体制を強化し、積極的な運営に取り組みます
 - 国が定めた「成年後見制度利用促進基本計画」を踏まえ、成年後見制度の利用を促進するための取り組みを強化します
3. 生活福祉資金貸付事業の機能強化を図ります
 - 生活福祉資金貸付事業の実施体制の維持・強化のため、相談員の適正配置等に向けた、予算確保の取り組みを強化します
 - 生活福祉資金担当職員・貸付相談員の資質向上を図ります
 - 生活福祉資金貸付事業と他制度・他施策との連携を強化します
 - 市町村社協への生活福祉資金貸付事業の実施体制強化を目的とした訪問支援を実施します
4. 借受世帯に対する生活支援を強化します
 - 生活相談会を開催します
 - 長期滞納世帯への実態把握と償還指導及び支払困難世帯に対する救済措置を促進します
5. 運営適正化委員会における苦情解決機能の一層の充実・強化を図ります
 - 福祉サービス事業者による苦情解決の取り組みと、運営適正化委員会による苦情解決の取り組みにより、利用者の権利擁護や質の高いサービス提供が行われる環境整備を目指して、運営適正化委員会の事務局体制の充実・強化に取り組みます
6. 福祉サービス事業者段階における苦情解決体制の充実・強化に向けた支援を強化します
 - 事業者段階における苦情解決の体制整備を促進するとともに、苦情解決機能の充実・強化に取り組みます

基本目標 3

大規模災害に備えた基盤強化

1. 大規模災害に備えた基盤整備を推進します
 - 千葉県災害ボランティアセンター運営スタッフを育成します
 - 市町村が円滑に災害ボランティアセンターを運営できるよう支援します
 - 市町村災害ボランティアセンター運営マニュアル作成を支援します

基本目標 4

福祉サービス事業者への支援

1. 福祉サービス事業者の社会貢献への取り組みを支援します
 - 社会貢献活動情報集を作成・配布します
 - 「若者チャレンジ支援デュアル・システム」の周知・普及を図ります
2. 福祉サービス事業者への支援を強化します
 - 専門家による指導・援助・相談事業の拡充と一層の充実を図ります
 - 法人情報公開について周知・徹底を図ります

基本目標 5

福祉人材の確保、定着及び養成への取り組み強化

1. 福祉人材の確保、定着を支援します
 - 福祉・介護の仕事の魅力を発信します
 - 福祉・介護人材マッチング機能の充実を図ります
 - 潜在保育士再就職支援事業を強化します
 - 離職介護福祉士等届出制度の推進をします
 - 働きやすい福祉の職場づくりを支援します
 - 福祉人材の定着に資する研修の充実を図ります
 - 修学資金等貸付制度の一層の周知をします
2. 福祉人材の養成・育成機能を充実します
 - 体系的な研修の一層の充実を図ります
 - 先駆的な研修テーマの検討やモデル的・試行的な研修を通じ福祉・介護人材の資質向上を目指します
 - 「キャリアデザイン研修」の継続、充実を図ります
 - 「人事・労務管理研修」の充実を図ります
 - 介護支援専門員の人材確保と資質の向上を図ります

基本目標 6

透明性の高い法人運営と経営基盤の確立

1. 情報提供機能の強化を図ります
 - 広報紙「福祉ちば」及びホームページを充実・強化します
 - 県社協ニュースの発行をします
 - 広報活動を効果的に展開します
2. 財政基盤の強化を図ります
 - 各種研修等の受益者負担の収入額の向上に取り組みます
 - 広報ツールを活用した自主財源の確保をします
 - 新たな寄附のあり方・手法による財源確保導入の検討を進めます
 - 社会福祉施設・介護保険事業者等への加入促進をします
 - 賛助会員への加入促進をします
 - 県社協会費の算定方法の見直しをします
3. 信頼性と透明性の高い法人経営をめざします
 - 外部の専門家による評価の実施と内部監査の確実な実施をします
 - 政策調整委員会による事業の進行管理を行います
 - 地域における公益的な取り組みの検討・実施をします
 - 各種広報媒体の活用による情報公開をします
4. 事務局体制の強化を図ります
 - 定年後の再雇用制度の活用をします
 - 人員・人件費の増加に向けた取り組みの強化をします
 - 各種研修等への参加、学習機会の提供をします
 - （仮称）千葉県社会福祉センター建設への取り組みをします



※「菜の花コミュニティプラン2020」は、本会ホームページからご覧いただくことができます。
http://www.chibakenshakyo.com/05kenshakyo/nanohana_cplan_2020.pdf



地域ふれあい交流会

ふれあい交流事業を通して 孤立防止と仲間づくりを推進

旭市社会福祉協議会(以下、旭市社協)は市内の小中学校区域を目安に、16の地区社会福祉協議会(以下、地区社協)が地域の実情に沿って活動を展開しています。今回ご紹介する広原地区社協は、旧海上町の中心街に当たるエリアで、JR飯岡駅周辺の4つの区で構成され、約550世帯が暮らしています。地区社協活動としてふれあい交流事業に取り組み、閉じこもり予防や仲間づくりを推進しています。

年齢や運動能力に関係なく 楽しめるスカットボール

広原地区社協では年3回、75歳以上の後期高齢者を対象に「地域ふれあい交流会」を開催しており、そのうち1回は子どもたちが参加する世代間交流です。

今回は広原南区集会所で開催された高齢者のみが参加する「地域ふれあい交流会」に伺いました。駅から徒歩数分の便利な場所にあり、90代の方も歩いて会場に集まってきます。会がスタートする9時30分には60名ほどの参加者が揃い

ました。

16のすべての地区社協でふれあい交流事業を実施していますが、1回あたりの参加者数は広原地区が最も多いそうです。

地元の方が演じる舞踊と歌謡を鑑賞した後、スカットボールが始まりました。ボールをスティックで打って穴に入れて得点を競う、バタゴルフに似た競技です。車いすの女性や100歳の男性も含めて全員が競技に参加。一打、打つごとに歓声や拍手などが沸き上がり、周囲の人との会話が自然と生まれていました。

平野嘉一会長はスカットボールの特徴について「年齢や運動能力に関係なく誰でもプレーできます。得点は技術よりも運に左右され、室内の狭いスペースで行うことができるのが魅力です」と説明。ふれあい交流会の定番メニューになっています。

10位以内の入賞者が表彰された後、おしゃべりに花を咲かせながらの昼食。保健推進員とボランティアの方々が、朝早く



広原地区社協のみなさん。前列左から5人目が平野嘉一会長

から隣室の厨房で手作りした豚汁に舌鼓を打ちました。午後からはビンゴゲームに興じて、閉会となりました。

手間暇かけた取り組みで 参加人数が大幅増加

広原地区社協の役員は、民生委員、区長、保健推進員など31名で構成されています。役員の多くは、地域で活発に活動している「ボランティアUNAKAMI」のメンバーとして以前から地域福祉の活動に携わってきたこともあり、チームワークの良さが特徴です。

「地域ふれあい交流会」の参加者は最初から多かったわけではなく、きめの細



AED講習会

かい取り組みを行った成果だと言います。新規の方を取り込む方を検討し、後期高齢者のお宅を一軒一軒訪問し、チラシを渡す取り組みを始めたのです。平野会長は「毎回、個別訪問するようになってから新規の方も増えました。手間暇をかけた成果ですので、参加者の数は、私たちの誇りです」と胸を張ります。

「参加者に満足していただけるような、充実したメニューづくりを心掛け、毎回、知恵を絞っています」と話すのは、副会長の上與那原（うえよなはら）房子さんです。市役所や消防署など関係機関の協力を得ながら、出前講座を開催したり、介護予防の体操を実施したりしています。

また、役員が参加者全員の名前を把握しており、「カズコさん、足の具合は良



地域福祉フォーラム

くなったの?」「次はシゲちゃんが打つ番よ。がんばって」と、頻繁に声かけしていました。そのため、大掛かりなイベントにもかかわらず、アットホームで心温まるような明るい雰囲気を作り出していました。

年一回の世代間交流は、子ども会の役員が中心となって地区内の小学生に呼び掛けて実施しています。昨年は21名の子どもが参加し、お年寄りとの交流を図りました。

地域福祉フォーラムでは 全戸に向けたアンケート調査

広原地区社協は平成27年に「地域福祉フォーラム」を立ち上げ、よりよい地域づくりを目指した取り組みを3年間行いました。まず、地区社協のなかに実行委員会を組織し、「出あい・支えあい・地域あい♥」というテーマを決め、「住民のみなさんが、実際にどんな地域を目指したいのか。その思いや考えを知りたい」と、アンケート調査を実施。区長が中心となって全世帯にアンケート用紙を配布し、結果を集計しました。

アンケート調査の結果から「多世代の住民が会ってふれあえる場がほしい」という意見が多いことや、開催してほしいイベントとして「軽スポーツ大会」を希望していることが見えてきました。そ



地域ふれあい交流会「歌謡演舞」

こで、公民館のホールを借りてスカットボールを楽しむ「軽スポーツ大会」を2回開催。障がい者も含めて幼児から高齢者まで地域住民が100人ほど集まり、競い合い、励ましあうなかで、つながりあう体験ができました。

孤立している方がすべて 地域とつながるために

今後は、地域福祉フォーラムで培ったノウハウを活かし、お互いに支えあう地域をつくるための取り組みを目指しています。

最後に広原地区の課題と今後について平野会長に伺いました。「長年、ふれあい交流事業に力を入れてきたことで、閉じこもり予防や仲間づくりの成果が現れています。しかし、地域を回っていると、まだまだ孤立している一人暮らしの高齢者がいらっしやいます。そのような方が地域とつながりを持てるように、広原地区社協のチームワークの良さを活かしながら取り組んでいきたいと考えています」

旭市社会福祉協議会 TEL 0479-57-5577

生活困窮者に寄り添いながら 自立に向けた相談支援

平成27年4月から生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い、旭市社協は市から「生活困窮者自立支援事業」の委託を受けて、相談窓口を設置しました。生活に困窮している人が生活保護に陥らないよう、その前段階で自立できるように支援しています。

経済的に困って最低限の生活を維持できなくなるおそれのある人、引きこもりやニートで悩んでいる人、働くことに不安がある人などが対象です。

対応するのは4人の支援員。直接、本人から相談を受けることもありますが、行政の関係者から依頼されるケースが最も多く、民生委員や地区社協関係者等から連絡を受けて動くケースもあります。

支援員は本人から話を聞き、一緒にプランを作成。例えば、引きこもりの人の場合は生活リズムを整えることからスタートして、外出したり、他人と会ったり、ボランティア活動に参加するなどのプランを立てて実行し、最終的には一般就労を目標にします。プランを実施してうまくいかなければ、支援員とともに振り返りを行い、プランを見直します。

ハローワークを通して就職できる人は少ないため、旭市社協では「無料職業紹介事業」の認可を受け、支援員が本人と企業の間に入って就職活動を支援しています。また、「家計相談支援」や「就労準備支援」を実施しているため、さまざまな事例に対応できることも、強みとし



旭市社協 生活困窮者自立支援事業担当職員のみなさん

旭市社協はホームページの充実にも力を入れています。ぜひ一度、閲覧してみてください

て挙げられます。

事業開始から3年が経過し、昨年度の実績を見ると、一般就労をプランの目標にしていた40ケースのうち、22ケースで一般就労が開始されました。さらに家計の安定や就労の定着、自立意欲の向上などの成果も上げていることから、市の生活保護担当からも高い評価を受けています。

肢体不自由者(手や足が不自由な方)の生活をサポートする「介助犬」を育成し、啓発活動にも取り組む!

URL http://www.geocities.jp/info_hsda

メールアドレス info_hsda@ybb.ne.jp 電話番号 047-437-6155



船橋市にある千葉介助犬協会は、NPO法人兵庫介助犬協会の関東事務所として、2016年に開設されました。たくさんのボランティアに支えられながら、介助犬の育成や啓発活動、介助犬の使用者のアフターフォローに取り組んでいます。

遊びの延長だから 訓練も仕事も楽しい

盲導犬は目の不自由な方が安全に歩けるようにサポートし、聴導犬は耳の不自由な方に、生活のなかの必要な音を知らせます。では介助犬の“仕事”は何でしょうか。介助犬は手や足が不自由な方の日常生活をサポートする犬のことで、落としたものを拾って渡したり、緊急時に携帯電話を持ってきたり、洋服の着脱やドアの開け閉めをするなど、使用者（介助犬を使う人）のニーズに合わせてサポートします。

指示どおりに動く介助犬は、どのように育成、訓練していくのか。千葉介助犬協会（以下、協会）の秋山美樹さんに伺いました。

まずブリーダーや他協会から来た、生後2か月くらいの子犬が、パピーウォーカーと呼ばれる飼育ボランティアの

家に約1年間預けられます。一般の家庭で愛情をもって育てられることで人が好きになり、人と暮らすマナーも身に着けます。

1年後、協会に戻ってから介助犬となるための訓練が始まります。パピーウォーカーのもとで人と遊ぶ楽しさを経験しているので、訓練士はおもちゃを使って遊びながら、人の指示に従うように進めていきます。

秋山さんは「叱りながら厳しく訓練していると誤解されがちですが、実際はほめながら、楽しく訓練しています。指示されたものを持ってくるといった“仕事”は、犬にとって遊びの延長。遊びですから犬は訓練が大好きでもっとやろうよ、とせがまれます」と説明します。



介助犬と暮らすと 外出機会が増える

訓練を続けていくなかで、性格や身体的な問題が見つかり、介助犬になることが難しいと判断された場合は「キャリアチェンジ」（進路変更）します。家庭犬として里親ボランティアに譲渡されたり、啓

千葉介助犬協会

発活動に参加するPR犬として協会に残る犬もいます。

訓練がある程度進んだ段階で、ユーザーとなる方を決め、犬とユーザーと訓練士の3者が一緒に、「合同訓練」を実施。障がいの状態やニーズに合わせてオーダーメイドの訓練が行われます。右半身がまひしている方には、左手にものを渡すようにするといったことです。

「合同訓練」を終えると、いよいよ認定試験。認定法人が実施する試験に、ユーザーと犬がペアで臨み、合格すると「認定証」が発行され、晴れて介助犬が誕生します。おおむね2〜3歳から介助犬として仕事ができるようになります。

介助犬と一緒に暮らすことで、外出の機会が増えるなどユーザーの生活が変わります。一人で外出することの不安や、知らない人に何かをお願いする精神的な負担が減ります。

「近所の人との会話が増えた」「地域のラジオ体操に初めて参加した」「ボランティア活動に参加した」など、社会とのつながりが深くなることも介助犬と暮らす効果です。なかには一人暮らしをする勇気を得られ、実家を出て独立したユーザーもいます。

介助犬は10歳前後（人間の60歳くらい）で引退。よく介助犬は働いていたので寿命が短いと思われることがありますが、仕事は一日10〜20回ほど。それ以外はペットと同じようにユーザーのそばで寝ていたり、遊んだりしています。またユーザーはこまめに健康チェックを行うようにしているため、寿命はペットと変わりません。引退した介助犬は、そのままユーザーが家庭犬として引き取るか、里親ボランティアやパピーウォーカーの元に戻り、余生を過ごします。介助犬はたとえ飼い主は変わっても、最期まで愛情に包まれた環境のなかで一生を全うしているのです。

不特定多数の人が利用する施設には 補助犬を受け入れる義務

介助犬を同伴することでユーザーの行動範囲が広がりましたが、たとえばレストランで食事をしようとした際「犬は入れません」と拒否されることがあります。介助犬は障がい者の身体の一部であり、それを拒むことは障がい者の社会参加を否定することです。

そのため、2002年に成立した「身体障害者補助犬法」という法律によって、



千葉介助犬協会 訓練士 秋山美樹さん
「兵庫介助犬協会のスタッフとして働いていましたが、地元の千葉に協会を開きたいという夢がかないました」

公共施設、商業施設、飲食店、ホテル、公共交通機関など、さまざまな場所に、補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）を受け入れる義務が課せられました。しかし、一般の方にはまだこの法律が周知されていないのが現状だと秋山さんは指摘します。

さまざまな場面で ボランティアが活躍中

全国で活躍している盲導犬は941頭、聴導犬は74頭、介助犬は75頭（2018年5月1日現在）です。協会は介助犬への理解を深めるため、小中学校や地域のイベント会場に出向いて、講演やデモンストレーションを行ったり、駅などで募金活動を兼ねた啓発活動を実施しています。「身体障害者補助犬法」の啓発も併せて行っているそうです。

その際、前述したPR犬と一緒に参加し、介助動作の実演などを行います。また多くのボランティアがイベントの準備やチラシの配布、募金の声かけなどに協力しています。

「小さな事業所なので、ボランティアさんの支えなしには活動ができません。感謝しています」と秋山さん。犬舎の掃除、犬の散歩やシャンプー、印刷作業など、さまざま場面でボランティアが活躍しています。

目下の課題は活動資金のこと。寄付金や募金に頼っていますが、公的な助成金、補助金があれば、介助犬の頭数を増やすことにつながります。

実は千葉県で活躍している介助犬は現在のところ1頭です。秋山さんは「障がいをもつ方の自立や社会参加に、介助犬が大きな助けになる、という理解が千葉県内で広まってほしい。そしてみんなで一緒に介助犬を育てていく環境が整うことを期待しています」と抱負を語ってくれました。

犬と暮らす1年間は
家族の楽しい
思い出が増えます



パピーウォーカーのボランティア
仲澤幸乃さんとバル（メス）生後6ヶ月

ペットとして犬を飼いたかったのですが、夫の仕事や子どもたちのこれからを考えると、長い一生をお世話する自信がありませんでした。そこで家族4人で話し合い、数年前に盲導犬のパピーウォーカーを経験しました。大変な思いもしましたが、楽しい思い出が詰まった一年を過ごすことができ、今でも「あのときは楽しかったよね」と家族でよく語り合います。そこで、またお預かりすることになりました。

千葉介助犬協会はアットホームな雰囲気、何でも気軽に相談できますし、定期的にスタッフの方が自宅に来て、犬の状態を見てくださるので安心です。「バル」という名は私たち家族の命名で、相棒とか仲良しという意味です。介助動作を教えるわけではないので、難しいことはありませんが、私が留守にするときは、子どもたちが代わりにお世話をするなど、家族の協力は欠かせません。

一年でお別れするのはつらいのですが、家族の楽しい時間が増え、それが社会貢献につながる。パピーウォーカーは犬好きの方にはとても魅力的なボランティアだと思います。

ユーザー の声

街中でお仕事の介助犬を見かけたら、家族や友人などに、「介助犬を見たよ」と話してほしいです。

そして介助犬に興味や関心を持っていただき、介助犬を応援してほしいです。



介助犬ユーザー
西澤陽一郎さん（船橋市在住）と、
介助犬のラッキー（オス）4歳

地域にひろがる 社会福祉法人の取り組み



社会福祉法人 清郷会(富里市)

- 障害者支援施設(2カ所) ●障害者通所施設
●障害者就労系の多機能型事業所(就労移行・就労継続B)
●障害者グループホーム(5カ所) ●特別養護老人ホーム ●保育所

法人本部／富里市日吉倉1082-3 協和厚生園
お問い合わせ TEL 0476-93-1535
HP <http://www.kiyosatokai.or.jp>

●障がい者への理解を深めるために

社会福祉法人清郷会は昭和61年、富里市内に障害者支援施設「協和厚生園」を開設して以来、障害者通所施設など、障がいのための福祉施設を増設してきました。

また平成6年には市内初の特別養護老人ホーム「九十九荘」を開設し、平成23年には「青空保育園」を開設。現在は富里市の地域福祉の核として、「0歳児から100歳まで」の多様な人を支えています。

清郷会は開設当初から地域貢献活動に取り組んできました。「最初の障害者支援施設を立ち上げたとき、地元住民の反対運動が起きました。そこでご利用者と地域の方々との交流の機会をつくり、障がい者への理解を深めていこうと考えたのです」と、法人理事長の三橋輝男さんは振り返ります。

●700人の住民が芋掘りに参加

清郷会は市内に田畑や果樹園を所有し、米や柚子などの農作物を栽培しているほか、青空保育園でも果物や野菜を栽培しています。それらの収穫物は地域の住民と一緒に収穫したり、「おすそわけ」したりしています。

特にサツマイモ畑は約3,000坪もあり、障がい者が中心となって育てていますが、秋の収穫時期になると、近隣の小学校や子



育で支援グループ、老人会など、延べ700人ほどの方が参加して、芋掘りを楽しんでいます。

また各施設の夏祭り、収穫祭などの行事には地域住民を招待して交流しており、地域のサークルがダンスや歌を披露する場としても定着しています。

さらに地域の防災にも協力。富里市を始め、近隣の自治体と「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しました。これは一般の避難所で生活することが困難な高齢者、障がい者を清郷会の施設で受け入れるための協定です。

施設を地域に開放する取り組みも進めており、緑の芝生が敷き詰められた青空保育園の広い園庭は、市内の児童デイサービスに開放しています。



理事長の三橋輝男さんと常務理事の三橋郷留さん

●交流事業に参加した子どもが法人に入職

清郷会は地元の人を優先して職員採用を行っています。そのため、地域愛に満ちた職員が多く、地域貢献活動にも積極的に取り組み、地域との交流を楽しんでいます。職員の定着率は高く、昨年度の離職率はわずか4%でした。

清郷会の交流事業に参加した子どもが福祉に関心をもち、福祉の仕事に就いた事例も数多くあります。障害者支援施設「十倉厚生園」は長年、近隣の小学校と芋掘りや運動会などの交流事業を行っていますが、この小学校の卒業生が清郷会に入職し、現在、十倉厚生園で働いているそうです。

また、地域貢献事業を継続してきたことで、地域住民にとって障害者福祉施設や高齢者福祉施設への理解が深まり、地域の「社会資本」として捉えるようになってきたと言います。常務理事の三橋郷留(さとる)さんは、「今後も清郷会の機能を最大限に生かし、地域とのつながりを深めていきたい」と話してくれました。



地域交流事業 夏祭り



サツマイモ畑



青空保育園

県社協ニュース

皆様のご支援に感謝します

平成29年度に本会に対して寄贈いただきました企業様をご紹介します。誠にありがとうございました。

— ツルハホールディングス株式会社、クラシエホールディングス株式会社 — 車いす20台を寄贈していただきました



目録を受け取る本会の鈴木常務理事(右から3人目)

ツルハホールディングス株式会社及びクラシエホールディングス株式会社から本会へ平成30年3月30日に車いす20台が寄贈され、千葉県社会福祉センターで贈呈式が行われました。

両社は、平成21年から全国のツルハドラッグの店頭で行った共同キャンペーンの売上の一部で購入した車いすの寄贈を続けており、本会をはじめ市町村の社会福祉協議会、福祉団体等への寄贈台数は120台になります。

本会では、寄贈していただいた車いすを県内市町村社会福祉協議会等へ配分し、福祉用具としての貸出しや福祉体験講座の教材などとして活用していただく予定です。

— 生命保険協会千葉県協会 —

福祉巡回車、社会奉仕募金、高齢期疑似体験セットを御寄贈いただきました

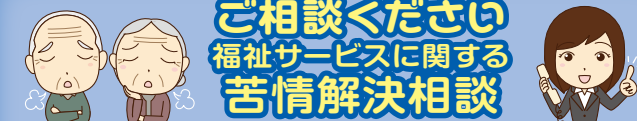
生命保険協会千葉県協会加盟の22社、47支社に在籍する約1万名の職員の方々の寄付による「社会奉仕募金(ふれあい募金)」の中から、今年度、君津市社会福祉協議会に福祉巡回車を、本会には社会奉仕募金(50万円)並びに高齢期疑似体験セット等を御寄贈いただきました。

同協会からの福祉車両の寄贈は平成4年度から本年度まで、移動入浴車計2台、福祉巡回車計28台となり、それぞれ地域福祉の向上のために活用させていただいております。御厚意に深く感謝申し上げます。

社会福祉施設 経営相談専門家相談カレンダー(平成30年度)

月	会計等(税理士・公認会計士)	労務等(社会保険労務士)	法律(弁護士)
8月	6日(月)・20日(月)	1日(水)・16日(木)	8日(水)・22日(水)
9月	3日(月)・18日(火)	5日(水)・19日(水)	12日(水)・26日(水)
10月	1日(月)・15日(月)	3日(水)・17日(水)	10日(水)・24日(水)

◎要予約。一般相談・予約は☎043-245-4450 社会福祉施設経営相談室まで
◎詳細はお問い合わせください。 秘密厳守・相談無料



千葉県運営適正化委員会 電話043-246-0294
メール support@chibakenshakyo.com FAX 043-246-0298
【受付時間】平日9時~12時、13時~17時(土日祝日・年末年始を除きます)
※来所面談は予約制です。事前にご連絡ください。メール、FAXも可。

赤い羽根共同募金

千葉県共同募金会からのお知らせ



平成29年度 赤い羽根共同募金

みなさまの温かいご協力ありがとうございました

『おたがいさま』の気持ちをつないで70年

昨年10月1日から本年30年3月31日までの6カ月にわたる「赤い羽根共同募金運動」並びに12月実施の「歳末たすけあい運動」に多くの皆さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。お寄せいただいた募金は、千葉県共同募金会と各市区町村社会福祉協議会によって、約7割(市町村歳末たすけあい募金は全額)が寄付をいただいた地域の福祉の向上のために、約3割が千葉県域で支援を必要とする方のために使われます。

共同募金運動は皆さまに支えられ、29年度で70周年を迎えました。これからも地域の福祉課題(困りごと)の解決を支援してまいります。

『赤い羽根共同募金は、じぶんの町を良くするしくみ。』

今後とも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成29年度 千葉県の募金額

6億5,623万5,793円

赤い羽根共同募金	4億2,053万4,176円
市町村歳末たすけあい募金	2億1,670万1,414円
NHK歳末たすけあい募金	1,900万203円



平成29年度 共同募金のつかいみち

助成合計額 7億8,308万2,818円

※災害準備金取崩額等の繰越額があるため、募金額とは一致しません。

皆さまから
お預かりした募金は、
県内の様々な福祉のために
役立てられています。

住民のみなさんのために 3億7,885万円	お年寄りのために 1億4,084万円	障がい児・者のために 9,170万円	子ども達のために 6,379万円	災害等被災者のために 2,240万円	広報や資料作成など、活動に必要な経費として 8,550万円
--------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------	----------------------------------



詳しいつかいみちは「はねっと」に掲載!!

赤い羽根データベース「はねっと」では、毎年、全国およそ7万件の助成事業の内容をわかりやすくご紹介しています。皆様のお住まいの地域では、どのように赤い羽根募金が活かされているのか、是非ご覧ください。



イラスト：夜代(やしろ)ちえりさん

いかに知らない 共同募金は『地域が良くなる』募金!?

赤い羽根募金でお寄せいただいた募金のうち7割が、市町村歳末たすけあい募金でお寄せいただいた募金の全額が、市町村社会福祉協議会を通じて、自分達の町の福祉のために活用されています。共同募金は地域の課題(困りごと)を、地域のみんなが主体となって解決するための、貴重な財源です。

毎年約5億円以上が地域のために使われています



社会福祉法人 千葉県共同募金会

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-3 県社会福祉センター 2F
TEL:043-245-1721 FAX:043-242-3338
http://www.akaihane-chiba.jp/



赤いはね ちば



地域の情報ひろば

うたのおねえさんとあそぼう! ~更生保護女性会 ミニ集会~【酒々井町】

- 日 時：平成30年8月22日(水) 10:30~11:45
- 場 所：酒々井町中央公民館 講堂
- 対象・定員：小学校低学年までの子どもと、その保護者。先着100名まで(おじいちゃん、おばあちゃんも可)
- 主 催：酒々井町更生保護女性会(後援：酒々井町、酒々井町教育委員会、佐倉地区保護司会酒々井町分会、酒々井町社会福祉協議会)
- 内 容：うたのおねえさんやこぶたちゃんと一緒に、おうたを歌ったり、楽しい電車ごっこやボールころがしであそびませんか?一緒に楽しい時間を過ごし、育児について語り合しましょう。
- 参加費：無料
- 参加方法：直接ご来場ください(申し込み不要)
- 問合せ先：酒々井町社会福祉協議会 ☎043-496-6635

子どもの未来を社会で応援! 子ども家庭支援講演会【佐倉市】

- 日 時：平成30年9月1日(土) 13:30~16:30(受付13:00~)
- 場 所：佐倉市立中央公民館 大ホール
- 対象・定員：一般市民、子ども家庭支援に携わる方、興味のある方
- 主 催：佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会、佐倉市社会福祉協議会
- 内 容：①講演「子どもの未来と社会をつなぐ~子ども支援の共生社会へ~」講師 胡内敦司氏(松戸市総合政策部兼子ども部兼教育委員会学校教育審議監：厚生労働省)
②未来につながるリレートーク
市内の学習支援、子ども食堂、居場所づくりや家庭訪問の実施団体及び子どもを応援する基金等の活動を紹介いたします。
- 参加費：無料
- 参加方法：直接ご来場ください(申し込み不要)託児や手話通訳、要約筆記等の特別な配慮が必要な方は、8月22日(水)までにお申し込みください。
- 問合せ先：佐倉市社会福祉協議会 ☎043-484-6197

やちまたふくしフェスタ2018 ~「かんじる」「つながる」「うまれる」~【八街市】

- 日 時：平成30年9月1日(土) 9:30~15:00
- 場 所：八街市中央公民館
- 対象・定員：どなたでも参加できます
- 主 催：やちまたふくしフェスタ2018実行委員会
- 内 容：たくさんの方と出会い、つながることで、障がいのある方もない方も共に暮らしやすい八街になることを目指して開催します。
○車いすバスケット(千葉ホークス)・ユニカル体験
○桜林高校少林拳法部・書道部・和太鼓部によるパフォーマンス
○福祉施設等によるうまいもの市・手芸品の販売
八街市地域自立支援協議会から発足したフェスタです。市内外の福祉関係者が協働して開催します。
- 参加費：無料 ※一部参加費あり
- 参加方法：直接ご来場ください(申し込み不要)
- 問合せ先：八街市社会福祉協議会 ☎043-443-0748

土気シビックウィンドオーケストラ チャリティコンサート【八街市】

- 日 時：平成30年9月23日(日) 13:30~16:00
- 場 所：八街市中央公民館
- 対象・定員：定員400名。どなたでも参加できます
- 主 催：土気シビックウィンドオーケストラ
八街市社会福祉協議会
社会福祉法人光明会
- 内 容：素晴らしい演奏を提供し、音楽を通じたふれあいを推進します。無料で生のオーケストラの演奏をご堪能いただけるまたとない機会です。多くの方のお越しをお待ちしています。
- 参加費：無料
- 参加方法：直接ご来場ください(申し込み不要)
- 問合せ先：八街市社会福祉協議会 ☎043-443-0748

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

保険金額		年間保険料(1名あたり)	
保険金の種類		タイプ	プラン
ケガの補償	死亡保険金	Aプラン	1,040万円
	後遺障害保険金	Bプラン	1,400万円
	入院保険金日額	Aプラン	6,500円
	手術保険金	Bプラン	10,000円
	入院中の手術	Aプラン	65,000円
	外来の手術	Bプラン	100,000円
賠償責任	通院保険金日額	Aプラン	4,000円
	特定感染症の補償	Bプラン	6,000円
	葬祭費用保険金(特定感染症)	Aプラン	300万円(限度額)
賠償責任保険金(対人・対物共通)		Aプラン	5億円(限度額)

年間保険料(1名あたり)		年間保険料(1名あたり)	
タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※)		500円	710円

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL:03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



保育士は子どもたちにエネルギーをもらえる仕事



社会福祉法人 一粒の麦福祉会
保育所型認定こども園 東浪見こども園
勤務歴：3年

乳児（0～2歳児）リーダー

三枝あけみさん

●保育士という仕事を選んだ理由を教えてください

私は幼い頃から歌やダンスが大好きで、その当時から幼稚園が保育園の先生になりたいと思っていました。そして中学生の時には「絶対になる!」と、心に決めていましたね。一途なようですが、実は、小さい頃からエレクトーンやピアノを習っていたので、その先生になりたいと考えた時期もありました。最終的には保育士を選びましたが、エレクトーンやピアノを習っていたことは、今も大いに役立っています。

●最初から保育園勤務だったのですか

私は学生時代から、保育実習などで乳児と接する度に、「なんてカワイイんだろう!」と感激していたので、可能ならば保育園の先生になりたいと思っていました。しかし、諸事情により、長い間、幼稚園に勤めていました。でも3年前、縁あって当園からお誘いがあり、現在は乳児リーダーとして、主に0～2歳児を担当させていただき、今、毎日がとても楽しいです!

●保育士として勤める前と後で、気持ちや仕事内容に大きな違いはありましたか

乳児とはいえ一人の人間です。故に、自分の意思を持っています。なので、こちらがどれだけ真剣に向き合っても、思い通りにならないことが多々あります。もちろん、学校でも（保育に関する）様々なことを学んできましたが、それが現場で通用するかというと……。だから、最初の頃は自分の無力さを感じることもありました。でも、ある時期気づいたのです。言うことを聞いてくれない子は、自分の思いを素直に表現できる子なのだと。なので、今では素直過ぎる子に対して、「本当にそれでいいの? もっとワガママ言っていんだよ!」と思えるようになりましたね（笑）。

●子どもたちと接する上で、心がけていることや大切にしていることを教えてください

寄り添う気持ちです。私は主に乳児を担当しているので、まだ言葉理解できない子も多いのです。だから、大人の考えで子どもの気持ちを決めつけたりせず、今、その子が何を望んでいるのか、何を訴えたいのかを、可能な限り理解してあげられるよう、心と心で

向き合うようにしています。

●印象に残ったエピソードがあれば教えてください

幼稚園に勤めていた時、教え子から「先生みたいな先生になりたい!」と言われた時は、すごく嬉しかったですね! そして、その子は本当に保育士になりました。現在も交流があり、先輩保育士として、また友人として様々なお話をしています。これって、先生冥利に尽きますよね!

●保育士をしていて楽しいと感じる時、逆に難しいと感じる時は

私はいつも楽しいです（笑）。子どもたちと信頼関係が深まったなと感じた時などは特に。しかし、楽しい仕事ではあるものの、命をお預かりしているという事実を、決して忘れてはいけません。ご家庭で大切に大切に育てられているお子さんを、長期間、長時間お預かりしているのですから、怪我や事故など決してあってはならない、責任重大な仕事なのだと、常に自分に言い聞かせています。

●保育士という仕事の魅力は何だと思われますか

子どもたちの成長を間近で感じられること。入園時には歩けなかった子が、つかまり立ちをして、次に歩けるようになり、やがて、追いつくのに苦労するほど（笑）、元気に走り回れるようになる。そして、その事実を保護者の方々と一緒に喜べる。子どもたちの小さな成長は、私たちにとっては大きな喜びなのです。

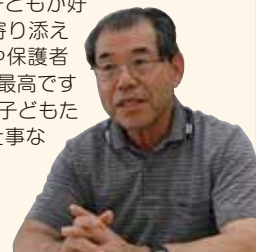
●これから保育士を目指したいと考えている人にメッセージを

大変な仕事です。責任も重いです。でも、それに耐えられずよろけそうになっても、子どもたちの笑顔が支えてくれます。保育士とは、子どもたちにエネルギーをもらえる仕事。だからこそ、やりがいがあるのです。

子ども、仲間、そして保護者の思いに寄り添える保育士を求めています

子どもたちが自分の思いを出し切れる、そして、安心・安全に過ごせる場所を創るべく、私たちは日々努力を重ねています。従って当園が必要としているのは、子どもが好きであると同時に、子どもの思いに寄り添える保育士です。さらに、職場の仲間や保護者の思いにも、寄り添うことができれば最高ですね。保育士は大変な仕事です。でも、子どもたちの笑顔と成長を励みに、頑張れる仕事なのだと私は思います。

東浪見こども園
理事長・園長 渡辺恵之助さん



認定こども園とは・・・

都道府県等から認定を受け、就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能、また地域における子育て支援を行う機能など、教育・保育を一体的に行う施設です。幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型など多様なタイプがあります。

FUKUSHI-JOB SEARCH
福祉のお仕事

福祉のお仕事

検索

<http://www.nw.fukushi-work.jp/>



千葉県福祉人材センター TEL.043-222-1294



編集・発行 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

平成30年7月27日発行

〒260-8508 千葉市中央区千葉港 4 番 3 号 TEL.043-245-1101 FAX.043-244-5201
<http://www.chibakenshakyo.com>

広報誌「福祉ちば」の発行には、一部共同募金の配分金を充当しています。